

# カリキュラム

政治学科の専門科目は、地方の政治から国際政治まで、将来を考えた科目を集中的に選択でき、自治体、NPO・NGOでのインターンシップを通して実践的な問題解決能力を養うことができます。1・2年次では文系・理系を超えた総合力を育成する「現代文明論」、「現代教養科目」と習熟度に合わせた「英語科目」を専門科目と並行して修得していきます。

1・2年次は 湘南キャンパス で学びます

3・4年次は 品川キャンパス で学びます

1年次		2年次		3年次		4年次					
<b>政治学の基礎固め</b> 「入門ゼミナールA・B」では、少人数クラスに分かれ、政治学の基礎知識を身に付けます。大学での学びに必要なノートの取り方、発表の仕方、図書館の効果的な使い方など、勉強の基礎についても丁寧に指導します。		<b>専門への方向を導く</b> 1年次で政治学の基礎固めをした後、政治基礎、地方行政、国際政治といった専門領域にも足を踏み入れ、知識を広げます。そして、第4セメスター(秋学期)には、3・4年次で行うゼミナールの研究室を決める選考があります。		<b>ゼミナール開始</b> 3年次には、自分の興味・関心のある専門分野をより深く学ぶゼミナールが始まります。夏休みには、ゼミ合宿を行うゼミナールもあり、学外での合宿は仲間の絆を強めます。さらに先輩や教職員と連携し、就職活動の準備も始めます。		<b>大学生活の集大成</b> 4年間の学業の集大成として「卒業研究」で卒業論文を執筆し、ゼミナールごとに論文の発表を行います。教員の指導のもと、関心のあるテーマを選び、資料やデータを分析しながら自分なりの視点を踏まえた論文を書き上げます。					
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入門ゼミナールA <span>Pick Up 01</span></li> <li>■ 学科基礎科目</li> <li>■ 情報処理1</li> <li>□ 政治学原論A <span>Pick Up 02</span></li> <li>□ 政治学原論B <span>Pick Up 02</span></li> <li>□ 行政学A</li> <li>□ 行政学B</li> <li>□ 国際政治学A</li> <li>□ 国際政治学B</li> <li>■ 3コース共通科目</li> <li>■ 憲法(統治機構論)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入門ゼミナールB <span>Pick Up 01</span></li> <li>■ 学科基礎科目</li> <li>■ 情報処理2</li> <li>■ 3コース共通科目</li> <li>■ 経済学原論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3コース共通科目</li> <li>■ 英語で学ぶ政治A</li> <li>■ 発展ゼミナールA</li> <li>■ 政治コース科目</li> <li>■ 社会政策論</li> <li>■ 比較政治学A</li> <li>■ 比較政治学B</li> <li>■ 行政コース科目</li> <li>■ 公務員論</li> <li>■ 国際コース科目</li> <li>■ グローバル・ガバナンス論</li> <li>■ 外交政策論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3コース共通科目</li> <li>■ 英語で学ぶ政治B</li> <li>■ 発展ゼミナールB</li> <li>■ 政治コース科目</li> <li>■ 現代日本政治論</li> <li>■ 現代政治思想論</li> <li>■ 政治哲学</li> <li>■ 行政コース科目</li> <li>■ 地域政策論</li> <li>■ 公共政策論</li> <li>■ NPO・NGOインターンシップ</li> <li>■ 国際コース科目</li> <li>■ 国際政治史A</li> <li>■ 国際政治史B</li> <li>■ 国際協力セミナー <span>Pick Up 03</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学科基幹科目</li> <li>■ 専門演習1 <span>Pick Up 05</span></li> <li>■ 3コース共通科目</li> <li>■ アカデミック・イングリッシュA</li> <li>■ 政治学方法論</li> <li>■ 国際経済学A ■ 国際経済学B</li> <li>■ 政治コース科目</li> <li>■ 日本政治史 ■ 日本政治外交史</li> <li>■ 行政コース科目</li> <li>■ 地方自治論A <span>Pick Up 04</span></li> <li>■ 地方自治論B <span>Pick Up 04</span></li> <li>■ 情報政策論1 ■ 情報政策論2</li> <li>■ 比較行政学 ■ NPOと市民活動</li> <li>■ 自治体インターンシップ</li> <li>■ 国際コース科目</li> <li>■ 国際政治経済論A</li> <li>■ 国際政治経済論B</li> <li>■ 西洋政治史A ■ 西洋政治史B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学科基幹科目</li> <li>■ 専門演習2 <span>Pick Up 05</span></li> <li>■ 3コース共通科目</li> <li>■ アカデミック・イングリッシュB</li> <li>■ 財政学A ■ 財政学B</li> <li>■ 政治コース科目</li> <li>■ 政治過程論A ■ 政治過程論B</li> <li>■ 政治社会学 <span>Pick Up 06</span></li> <li>■ ジェンダー政治論</li> <li>■ 西洋政治思想史1</li> <li>■ 西洋政治思想史2</li> <li>■ 行政コース科目</li> <li>■ 都市政策論1 ■ 都市政策論2</li> <li>■ 国際コース科目</li> <li>■ 国際機構論A ■ 国際機構論B</li> <li>■ 安全保障論A ■ 安全保障論B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学科基幹科目</li> <li>■ 専門演習3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学科基幹科目</li> <li>■ 専門演習4</li> <li>■ 卒業研究</li> </ul>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>卒業論文テーマ例</b> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>政治コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「空気を読む」ことの是非</li> <li>・戦後日本を作った男 一吉田茂を考え直す</li> <li>・世襲議員の現状及び特性と兼職議員の可能性</li> <li>・小泉純一郎と安倍晋三のメディア戦略の比較</li> <li>・自動運転と道路交通法</li> <li>・ODA政策とSPORT FOR TOMORROW</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンにおけるメディア統合とリテラシー</li> <li>・人口減少時代における公共施設のリノベーション</li> <li>・空き地・空き家対策における自治体の役割</li> <li>・ICTを用いた離島医療の活性化</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>行政コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物々交換による地域信頼関係の創出</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>国際コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州の移民政策と労働環境 — フランス、ドイツを中心に</li> <li>・防衛装備移転三原則と日本の将来</li> <li>・フェイクニュースと国際政治</li> <li>・日本は先進国にもかかわらず、なぜ幸福度が低いのか？</li> </ul> </td> </tr> </table> </div>								<b>政治コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「空気を読む」ことの是非</li> <li>・戦後日本を作った男 一吉田茂を考え直す</li> <li>・世襲議員の現状及び特性と兼職議員の可能性</li> <li>・小泉純一郎と安倍晋三のメディア戦略の比較</li> <li>・自動運転と道路交通法</li> <li>・ODA政策とSPORT FOR TOMORROW</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンにおけるメディア統合とリテラシー</li> <li>・人口減少時代における公共施設のリノベーション</li> <li>・空き地・空き家対策における自治体の役割</li> <li>・ICTを用いた離島医療の活性化</li> </ul>	<b>行政コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物々交換による地域信頼関係の創出</li> </ul>	<b>国際コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州の移民政策と労働環境 — フランス、ドイツを中心に</li> <li>・防衛装備移転三原則と日本の将来</li> <li>・フェイクニュースと国際政治</li> <li>・日本は先進国にもかかわらず、なぜ幸福度が低いのか？</li> </ul>
<b>政治コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「空気を読む」ことの是非</li> <li>・戦後日本を作った男 一吉田茂を考え直す</li> <li>・世襲議員の現状及び特性と兼職議員の可能性</li> <li>・小泉純一郎と安倍晋三のメディア戦略の比較</li> <li>・自動運転と道路交通法</li> <li>・ODA政策とSPORT FOR TOMORROW</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンにおけるメディア統合とリテラシー</li> <li>・人口減少時代における公共施設のリノベーション</li> <li>・空き地・空き家対策における自治体の役割</li> <li>・ICTを用いた離島医療の活性化</li> </ul>										
<b>行政コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物々交換による地域信頼関係の創出</li> </ul>	<b>国際コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州の移民政策と労働環境 — フランス、ドイツを中心に</li> <li>・防衛装備移転三原則と日本の将来</li> <li>・フェイクニュースと国際政治</li> <li>・日本は先進国にもかかわらず、なぜ幸福度が低いのか？</li> </ul>										

■ 必修科目 □ 選択必修科目 ■ 選択科目

## Pick Up 科目紹介

**01 入門ゼミナールA・B**

Key word: アカデミック・スキル、レポートの書き方、ディスカッション技法

政治学の基礎知識を、対話重視の少人数ゼミナールで学ぶ。政治学科では1年次に、政治学に関する基礎知識を習得するために、少人数のゼミナールを開講しています。政治学に関する基礎的な文献を読み、議論を通じて内容理解を深めます。また研究発表の仕方やレポートの書き方も身に付けます。



**02 政治学原論A・B**

Key word: 政治とは何か、政治の場、民主主義

政治はなぜ重要だろうか？ 構造、主体、過程を理解する。政治の構造(仕組み、舞台)、政治のアクター(主な登場人物や組織)、それらが織り成す過程(プロセス、流れ)を説明し、理解を深めます。政治学科の選択必修科目に含まれており、遠隔形式(オンライン)で講義を行います。



**03 国際協力セミナー**

Key word: 海外研修、国際関係、国際協力

海外の学生と議論し 国際的な協働力を磨く。春休みに海外研修を行います。現地で英語による学生ワークショップを開催するために、社会科学の作法にのっとりテーマを決め、調べ、考え、伝えることをグループワークで行います。グローバルに活躍する人材の育成を目指します。



**04 地方自治論A・B**

Key word: 住民自治と団体自治、国と地方、民主主義

私たちに身近な地方自治から 現代社会を考える。地方自治は私たちにとって非常に身近な存在です。その一方で、地方は国に対しても影響力を持っています。こうした地方自治の制度、政策、歴史などを中心に、国際比較の視点も交えながら、理論と現実の両面から議論し、考察していきます。



**05 専門演習1・2**

Key word: 情報収集の方法、文献の読み方、プレゼンテーションの作法

専門領域の研究テーマに 特化して学ぶ。3年次からは、専門領域の研究テーマを集中的に学ぶ、少人数のゼミを履修します。専門的な文献を読み、報告し、議論することで多面的に深く学ぶことを目指します。合宿やフィールドワークなども行い、研究テーマを理論と実際の両面から考えます。



**06 政治社会学**

Key word: ネイションとナショナリズム、社会運動、福祉レジャーとジェンダー

「当たり前」を 疑ってみる視点。さまざまな「ひずみ」が顕在化している現在の日本。ナショナリズムや少子化、ジェンダー、社会運動などのトピックを取り上げ、現代の日本が直面するさまざまな課題がなぜ生じているのか、どうすれば変えていけるのかを探ります。

